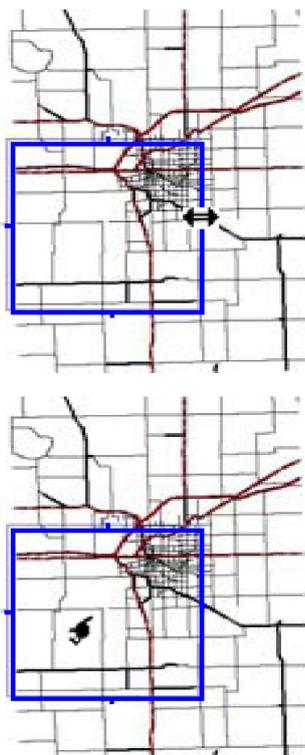


# ロケータによるズーム

ご存知でしたか?... 表示画面の[ロケータ]を使って、拡大/縮小したり領域を移動することができます。

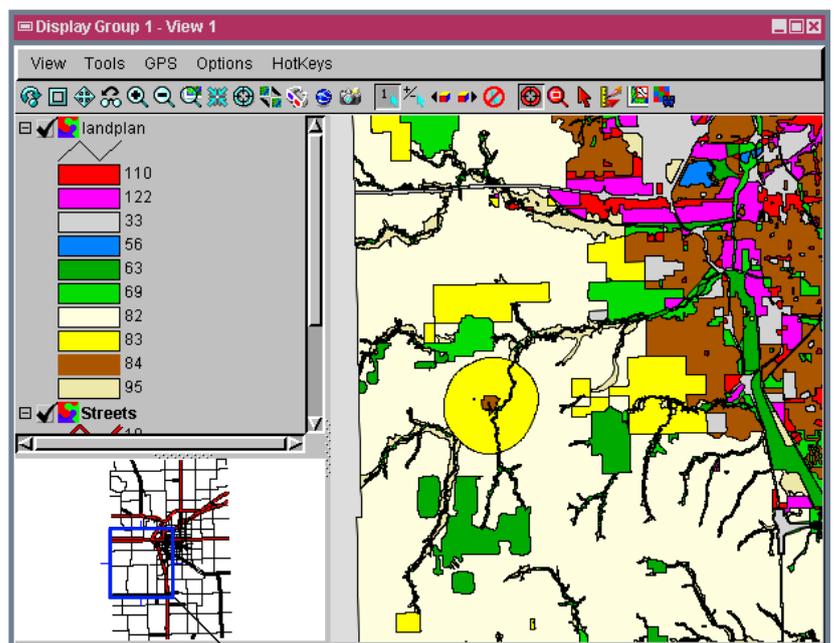
## ロケータを使ってズームすることで...

- 全体表示の中に拡大する範囲を表示できます。
- 表示範囲を決める可変ボックスが使えます。
- マウスを使って可変ボックスのサイズや位置を変えられます。
- ロケータに対してもレイヤの表示/非表示をコントロールできます。



可変ボックスの角や縁にマウスを置いた時、このカーソルは双方向矢印になります。

マウスを可変ボックスの上に置いた時、手の形のカーソルになります。



可変ボックスのサイズや位置を変えると、それに合わせて表示画面が変わります。

## ロケータを使ったズームの方法

- グループまたはレイアウトを表示し、表示ウィンドウの[オプション]メニューの[凡例の表示 (Show Legend)]と[ロケータの表示 (Show Locator)] ボタンがオンになっていることを確認します。
- 凡例もしくは〈表示マネージャ〉で個々のレイヤの[表示/非表示]チェックボックスの上で右クリックして、レイヤの表示・非表示を変更します。(デフォルトでは全てのレイヤが表示されます。)
- 双方向矢印になるよう可変ボックスの角にカーソルを置き、左マウスボタンをクリックしてつかみます。
- 希望する方向にボックスの角をドラッグして希望のサイズになったらマウスを離します。
- 手の形のカーソルになるよう可変ボックスの上にカーソルを置きます。
- 左マウスボタンをクリックしてつかみます。
- 希望する方向にボックスをドラッグして、ボックスが希望の位置になったらマウスを離します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：空間表示：

ロケータによるズームと位置のコントロール  
(Locator Reference View Manages Zoom and Position)

